
夏の恋人

春日まりも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の恋人

【Nコード】

N7645M

【作者名】

春日まりも

【あらすじ】

ぶっ飛んでいく夏。忘れ物の恋はそのまま……………。

ぶっ飛んでいく夏

忘れ物

季節外れの恋人たち

ただ茫然と立ちすくんで

ぶっ飛んでいく花火

綺麗に咲いて散って

季節外れの僕達

後味の悪さに黙りこんで

春の桜のような

甘酸っぱい恋でもなかった

秋の紅葉のように

真っ赤に燃えることも

冬のカイロのような

温かさもなかったんだ

そう、

例えるなら

あの華美な打ち上げ花火ではなく

この線香花火みたい

僕たちの恋

静かに始まり

ひっそりと終わった

夏風に馴染むように

爽やかに終わった

「さよなら」

今、言われても

きつと気付けずに終わってしまう

暑さに負けたかき氷に埋もれる愛を

夏祭りの喧騒が

見事にかき消してゆく

入道雲に攫われていく愛を

セミの鳴き声が

雑雑とかき消してゆく

一度離れた手と手

別れの合図

迷子の恋人たち

歩きだした別々の道

一度離れた心と心

スイカ割りの残骸みたい

真っ赤に熟した心の中身

誰にも気づかれぬまま

夕日が映る砂浜の上

汚く、食べられることもなく、
風に弄ばれ、

夏の忘れ物

誰もいなくなった波打ち際で

少しづつ削られて

消えていった――

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7645m/>

夏の恋人

2010年10月21日21時07分発行